

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

土浦平和の会

ニュースNo. 199 2008年9月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

http://www.geocities.jp/ino011_jp/

‘08年秋の市民集会

とき 11月 3日 (文化の日)

テーマ 軍事費とくらし (内容は検討中)

ところ 水戸市県立青少年会館ホール

主催 米軍機くるな茨城実行委員会

全県宣伝行動

宣伝カー、駅頭、地域チラシ (団地等) の宣伝行動を9月21日から始めます

県南地区は石岡の23日を皮切りに土浦、かすみがうらは24、25日、阿見26日を
宣伝カーでの宣伝を予定しています。なお 土浦、かすみがうらでは団地を中心に地域の
チラシ配りを予定していますので、ご協力をお願いします。

新聞意見広告「憲法九条を守ろう、自衛隊の海外派兵反対・・・」

今年も12月8日 朝日新聞に掲載します。ご協力ください

賛同費 個人1300口 (1口1000円) 団体100団体 (3000円予定)

平和の会ニュース、平和かわら版 (PDF版) 配信しています
平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

むのたけじの“憲法九条と戦後処理”

むのたけじの「戦争絶滅へ、人間復活へ」（岩波新書）を読んで感動したという、朝日新聞の投書欄「声」の記事をみて、93歳のオールドジャーナリストが何か新しい提案をしているのだろうか、読んでみようかと思いました。

戦中軍部・政府に協力してウソの報道をして国民をだまし続けたことを懺悔して、終戦の年8月15日に朝日新聞社を辞職した反骨のジャーナリストは「日本のジャーナリズムは死んだ」と言います。

第1に戦後の新聞は戦争の反省を書かなかった。「本当の戦争はこうだった」と書くことさえ思いつかない虚脱状態のままで平和を喜んでいて。極東軍事裁判で裁かれたのは、終戦時に大臣をやっていた様な人たちばかりで、最初に戦争を始めた人たちは放置されてしまった。天皇もGHQの占領政策に利用されて残されてしまった。国民の中にも自分達も戦争に加担したという意識よりも、天皇の命令で駆り出されたという意識しかなかった。ジャーナリズムもそのことを書かなかった。反省の不十分なままに古い根っこが残ってしまった。そこで、アメリカの言いなりに自衛隊を作り、海外派兵にまで進んでしまったと分析しています。

先日のNHK「その時歴史が動いた」で8月15日終戦（ポツダム宣言受諾）から9月2日（降伏文書調印）までの日本の首脳達の動きを特集した番組の中で、最大の関心事は国体（天皇制）の護持であったという事実、降伏（敗戦）ではなく降服であるという主張が大きかったことをみても当時の首脳部の頭は敗戦と言う事実を受け入れられない風潮が支配していたことがわかります。

第2に現在のマンモス化した新聞は、たくさん売るためには個性を薄めなければならない。自己主張のないトピックスのつまみ食いすぎない。そんな状態で反戦などと言えるのかというのです。（*大新聞には言えても、すべてのジャーナリズムと言うのは一面的だと思いますが、報道規制されたマスコミには大いに腹がたちます。納得できるところも大いにあります。これは私見です）

むのたけじの「憲法九条論」

日本国憲法はGHQから日本国民へ「与えられたようなもの」。日本の進歩派は神様の御幣のように立派なものとして、祀り上げているけれど、それは違うでしょう。

憲法九条は軍国日本に対する“死刑判決”。交戦権を持つのが近代国家なのだから、言い換えれば国家ではないという宣告です。ある意味で国家としてこれほど屈辱的なことはないと言しながら、一方で、人類が生き続けていくためには戦争を放棄する道を選択する以外にはないといえる。憲法九条を良いほうに考えると“人類の道しるべ”だということもできると言います。この2面性について当時の日本人は誰一人それを指摘しなかったし、国会答弁でも片面だけを語っている。だからこれは生きたものではなく、ただの飾り物にすぎない。

では、日本は いまどうすべきか。憲法九条を新しく60年ぶりにかざして、世界に向き合うことだと言いたい。改憲反対の声が少しずつ大きくなり「九条の会」が7000以上になったことに少し希望が感じられると言います。

（*新しく生まれ変わった国家の指針として 国民が受け入れたのではないですか。日本帝国は死んだのです。最後のところはまったく同感ですが、第三者であって欲しくない。井上の私見です）

活動ごよみ

8・1～7 原爆と人間展
 8・2 ピースデー
 8・15 2008年平和の集い

8・19 平和の会理事会（コープ土浦）
 9・7 県平和委理事会（水戸市青少年会館）
 9・20 平和の会理事会（コープ土浦）

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください